

## テストの出題形式は音を重視。範囲を工夫して、反復させています

『キクタンリーディング Basic 4000』は、中高一貫コースの中3、高校入学の普通コースの高1に導入しています。中高一貫コースでは先取り学習をしていて、中2で中学校の教科書を終了し、中3から高校英語の単語学習を始めています。単語テストは1Week(5日)分を半分の2.5日分ずつに分け、1回目のテストで2.5日分、2回目で2.5日分、そして3回目にとまとめて5日分、といったように範囲を設定しています。そうすることで、3回目は総復習をすることになり、反復して学習することができます。テストは裏表あり、表面は『キクタンリーディング』の長文部分を使ったテストで、長文のターゲットワード部分を空欄にしておき、CDの音声を流してディクテーションさせます。裏面には教師が単語を発音して、その単語を書き取らせています。どちらのテストも、音から単語を理解させるために、そのような形式にしています。

『キクタンリーディング』は自学自習用の単語集として使用し、授業で内容を扱うことはあまりありませんが、教科書に『キクタンリーディング』のトピックに対応するものがあつたときは、その長文についても触れるようにしています。

昨年度から『キクタンリーディング』を使っている学年は、2周目に入っています。以前習った単語に再度出合うことで、単語を頭に刷り込ませ、語彙力を強化させていきたいと思っています。

### ① 採用した理由

文脈の中で単語の  
意味・使い方を  
感じ取ることができる



### ② テスト実施方法

○頻度

週2回

○1回の範囲、問題数

2.5Days分、22問

○問題の種類

長文の空所補充(英語)、  
英語のディクテーション

○テスト作成用CD-ROM

使用していない

